

令和7年9月24日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第12回 (9/24号)

水稻病虫害発生予察の結果について

本年度の予察は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。

①生育状況

生育状況は昨年に比べて少し早い傾向に推移しております。生育は、どの地区も黄熟期に入っていました。長岡地区や大仁地区の早い圃場では1～2週間程度で収穫適期となる圃場も見られました。穂の85%～90%が黄金色に成熟していれば収穫適期です。自身で刈り取りを行う方は、刈り遅れにならないように気を付けましょう。

②病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生が確認されましたが、被害の心配はありません。現状では、管内において「秋ウンカ」による坪枯れ症状の被害無く、無事に収穫を迎えられる見込みです。

本年度の予察ではジャンボタニシの発生が散見される圃場がありました。ジャンボタニシの発生が多かった圃場では、別紙にて紹介させていただいた秋耕の実施をご検討ください。秋耕は収穫後に耕うんし、ガスの発生を抑え根張り促進させます。また、厳寒期の耕うんは越冬するジャンボタニシを減少させますので、次作のジャンボタニシ対策に効果的です。秋耕の詳しい内容につきましては、別紙にてご確認ください。

③その他

今回の調査で稲が一部倒伏している圃場がみられました。倒伏によって成熟した粳が水に浸かり続けた場合、粳が発芽する恐れがあります。倒伏の程度がひどい場合には、株を起こし日当たりを良くし、乾燥させる方法も検討してください。

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を行っております。